

今月の管内農業情報（東三河農林水産事務所 農業改良普及課）

[2025年9月30日]

9月の農業情報

タイトル 労働負荷の少ない果梗捻枝器具の開発に向けて現場で検討

とき 令和7年8月26日（火）

ところ 豊橋市

主体・対象 JA豊橋トマト部会（116名）

内容

農業改良普及課は、愛知県の現場フィールド活用型イノベーション推進事業（スタートアップ等と産地を結び、現場の「ほ場」で既存技術の応用や機器の改良、アプリの開発などにより、課題解決のために必要な新技術の迅速な導入を目指す事業）を活用して、令和7年度から、トマト用の果梗捻枝専用器具の開発に取り組んでいます（果梗捻枝とは、裂果対策として果梗部をペンチで強く捻じ、果実への水分流入を阻止する技術）。開発のコンセプトとして、作業負荷が少なく、安価で、女性でも扱いやすい器具を目指しており、10月から試作機による現場実証が始まる予定です。器具の開発に先立ち、現場での作業状況を開発業者に理解してもらうために、昨年からの果梗捻枝を実施している協力農家のほ場で検討し、作業時の労働負荷や捻枝の効果、開発器具に対する要望などの聞き取りを行いました。今後は開発者と連携し、試作器具の実用性を評価しながら改良を検討していきます。



農家から果梗捻枝作業の聞き取りを行う様子